

1.『言友会ってな～に?』

言友会は、吃音のある成人を中心とする**自助(セルフ・ヘルプ)グループ**です。成人吃音者だけでなく、中高生やそのご家族、さらには、吃音に関心のある方たちも参加していただけます。

吃音のせいで、自分の殻に閉じこもって一人悩むのではなく、仲間と一緒に吃音問題に取り組もうと前向きに活動しています。

言友会は全国各地に活動拠点があり、【NPO 法人全国言友会連絡協議会】を構成しています。千葉言友会はその中の1つです。

千葉言友会は1971年(昭和46年)に発足し、2003年(平成15年)1月には、特定非営利活動法人(NPO法人)に認められるなど長い歴史があります。

2.『吃音ってな～に?』

吃音(きつおん)とは、“どもり”とも呼ばれ、話し言葉が滑らかに出来ない**発話障害のひとつ**です。「自分の言いたいことが言えない」、「言い終わるまでに時間がかかる」などの症状があります。

恥ずかしい、イライラするなどの心理的な影響、話すときに体に力が入るなどの身体的な影響などの問題もかかえています。そのことで周りからいじめや差別を受け易く、話すことをやめてしまったり、回避しようとしたり、就職など社会的な参加にもつい消極的になってしまいがちです。

吃音の原因についてはよくわかっていませんし、治療法も確立していません。多くは幼児期に発症し、成人になるにつれて自然に回復しますが、回復しないで成人になる場合もあります。成人の吃音は治りにくく、吃音と付き合っていく必要がありますが、症状や悩みは人それぞれ違うように、吃音の捉え方も様々です。

会話をしなければ周りにはわからない吃音の問題は、逆に話さなければわからないため、一人で悩む要因にもなっているのです。

3.『私たちの想い!』

わたしたちは吃音があっても心豊かに生きていたいと思っています。かけがえのない私であることを自覚し、さらに社会の中に自分たちの居場所を求めようとしています。

そのために、我々は先輩たちがこれまで積み重ねてきた有益な考え方や生き方を共有し、それらを実践しつつ向上していくことを目指しています。

また、吃音のこと、吃音のある人が困っていることなどを周りの人にもわかってほしいと思っています。吃音は発達障害者支援法の対象です。現在、障害者差別解消法などの法律も整備されつつあり、それらの啓発も、“**吃音のある人にやさしい社会**”を目指すことにつながると考えています。

そのためには、吃音を抱える者同士やその家族、吃音の研究・臨床、教育、福祉に携わる方たちとの連携も大切だと思っています。

4.『例会に参加してみませんか?』

わたしたちは定期的に集まって活動をしています。

そこには、年齢・職業・吃音症状は違っていても、吃音の悩みを共に分かち合える**仲間**がいます。どもっていても心おきなく話ができ、自分を心から解放できる場所でもあります。

また、社会の中で吃音者が抱える様々な問題解決のため、啓発運動にも取り組んでいます。その他、コミュニケーション力の向上や良好な人間関係構築など、社会人としてのスキルも学べます。

例会で得る知識や味わう体験は、職場、学校、地域など普段の生活の場でも活かすことができるでしょう。

今までと違う人生が拓けるかもしれません。面白い人生を見つけられるかもしれません。新しい自分を発見するかもしれません。

ぜひあなたもほんの小さな勇気を出して、例会に参加してみませんか。

5.『活動内容です↓』

- (1)例会(県内4か所で、毎月や隔月で)
- (2)吃音(どもり)を考えるつどい
- (3)会報の発行(千葉言友会「わかしお」は毎月発行、全国言友会連絡協議会の会報は隔月発行)
- (4)インターネットによる啓蒙活動
- (5)学習会(言語聴覚士など専門家との勉強会など)
- (6)他地域及び他団体との交流
- (7)女性の会(不定期)

6. 各地言友会、関係団体の主な活動内容

☆全国大会(吃音ワークショップ)

全国言友会連絡協議会と地元の言友会が主催し、全国各地言友会から数多くの吃音者、関心ある方々が集う大会です。

2017年11月 福岡県福岡市

2019年10月 大阪府大阪市

☆関東ブロック大会

関東地方の言友会の大会です。

2019年6月 千葉県柏市

☆国際大会

3年に1度、世界の吃音者が集う大会です。

2018年 広島県広島市

2019年 アイスランド

☆吃音・流暢性障害学会

年一回、研究者、言語聴覚士、言葉の教室の先生、吃音当事者が集まる学会です。

会報発送作業  忘年会



